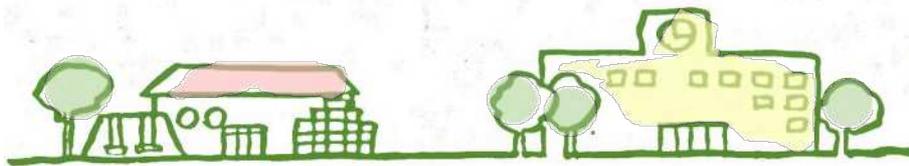


川越市ときも学びのプロセス

～幼保小 子どもの育ちと学びをつなぐ～

幼児期はあたたかな人間関係の中で、様々な遊びや生活の経験を重ね、
「生きる力」の基礎を育てています。

家庭と幼稚園・保育所・認定こども園と小学校がつながりを持ち、
未来をつくる子どもたちのすこやかな育ちを支えましょう。



家庭での子どもの関わり方のヒント

健康な生活

- 十分に体を動かし、好き嫌いなく食べ、寝る時間や起きる時間を決めて生活することで体が丈夫になり、元気に生活できます。
- できないところは手助けし、できるところはほめて励ますことで、自分で進んで行動できるようになります。

他者との関わり

- 子どもの目を見て話を聞くことで、安心して話せるようになります。
- 毎日できるお手伝いをさせることで、自分に自信をもって生活できるようになります。
- よいこととわるいことを示すことで、どんなことがよいかわるいかを考えながら行動することができるようになります。

興味・関心

- 子どもの「なぜ？」を一緒に考えることで、好奇心や探究心をもっていろいろなものに関わることができるようになります。
- 様々な体験や経験を子どもと一緒にすることで、小学校以降の考える力の土台になります。

子どもたちは、**安心**した環境のなかで、すくすくと**成長**し、**自立**していきます

川越市教育委員会



川越市では、幼保小で連携し、 子どもの育ちと学びをつないでいます



小学校
児童期

生きる力

各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を通して生きる力を育成します。

確かな学力 豊かな心 健やかな体

3つの力をバランスよく育みます。

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

これは、到達目標ではありません。この10の視点を共有し、幼児期・児童期のそれぞれに異なる子どもの育ちを見取り、保育・教育に生かしています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| (1) 健康な心と体 | 自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせる子 |
| (2) 自立心 | 最後までやりとげようとする子 |
| (3) 協同性 | 友達と進んでかかわり合おうとする子 |
| (4) 道徳性・規範意識の芽生え | 約束やきまりを守ろうとする子 |
| (5) 社会生活との関わり | いろいろな人や家族とのかかわりを大切にしようとする子 |
| (6) 思考力の芽生え | 生活や遊びの中で考えたり気づいたりする子 |
| (7) 自然との関わり・生命尊重 | 自然とかかわり命を大切にしようとする子 |
| (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 | 生活や遊びを通して様々な事象に関心をもつ子 |
| (9) 言葉による伝え合い | 言葉による伝え合いを楽しもうとする子 |
| (10) 豊かな感性と表現 | 表現の面白さに気付き楽しく表現しようとする子 |

幼稚園
こども園
保育園

生きる力の基礎

遊びを通して3つの力を一体的に育みます。

知識及び技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう人間性等

5領域

これらに示す「ねらい」が総合的に達成されるよう教育を行くことにより
生きる力の基礎を育成します。

- | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|---------------------------------|
| 健康
健康な心と体・自ら健康で安全な生活をつくり出す力 | 人間関係
他の人々と親しみ、支え合って生活するための自立心・人と関わる力 | 環境
周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力 | 言葉
自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度・言葉に関する感覚や言葉で表現する | 表現
豊かな感性や表現する力・豊かな創造性 |
|---------------------------------------|--|--|---|---------------------------------|

幼児期

3つの視点

身体的発達

社会的発達

精神的発達

保育園
こども園

生命の保持・情緒の安定